

令和 4 年度外部評価委員会 改善状況報告書

令和 5 年 3 月
三重短期大学

令和 4 年 7 月 28 日（木）に開催された令和 4 年度第 1 回三重短期大学外部評価委員会において、外部評価委員からいただいたご意見に対する、現時点での学内における改善状況を、以下の通りご報告いたします。

【意見 1】

大学敷地内の定期的な草の刈り込みや掃除の実施、防犯カメラや照明の適切な設置が必要ではないか。

【回答】

本学敷地内東側の通路にある垣根については、令和 5 年 2 月にすべてを伐採し、垣根による死角をなくすとともに、附近の清掃を行いました。また、令和 4 年 8 月には大学敷地内に防犯カメラ 4 台、運動場通路にセンサー付きライト 2 台を新設し、防犯対策を行いました。

今後も引き続き、学生の安全確保につとめてまいります。

【意見 2】

発達障害やその他さまざまな配慮が必要な学生に対して、入学前（入試時）、入学後（学生生活及び進路指導）に細やかな対応が必要ではないか。

【回答】

入試時には出願前に志願者から配慮の申し出を受け付け、障がい等の程度に応じた措置を講じています。入学時には、身上調書や本人・保護者等からの申し出、高校の支援担当者の情報提供などから配慮が必要と思われる学生を把握し、入学後には看護師等が聞き取りを実施しています。その結果を「障がい学生支援委員会」で共有し、配慮内容を協議の上、受講科目の担当教員やクラス・ゼミ担任へ配慮依頼を行っています。

また、「学生相談室」を設置し、臨床心理士が随時、学生の相談に応じています。就職指導では、学生部と就職支援室（TASK ROOM）が連携し、学生本人の意向や特性をふまえアドバイスを行っています。今後も学生一人ひとりに寄り添った細やかな対応につとめてまいります。

【意見 3】

「アセスメント・ポリシー」が確定すれば、外部評価委員会に資料を提出し、大学 HP にアップロードすべきではないか。

【回答】

令和 3 年度末に「アセスメント・ポリシー案」を学内に提案し、ゼミの必修化、ルー

ブリックの作成、アセスメントテストの実施等について審議を重ね、令和 5 年 1 月の定例教授会で「アセスメント・ポリシー」を確定し、本学 HP に掲載しました。

今後は同ポリシーに基づき、学生の入学時から卒業時までの成長を検証し、学習成果・教育成果の評価と測定を行い、教育の質の保証につとめてまいります。

【意見 4】

全国の定時制高校への PR は良いことだと思う。あわせて専修学校や通信制高校へも PR してはどうか。

【回答】

令和 4 年度は、大学案内パンフレットを増刷し、全国の定時制高校約 600 校に加え、外部評価委員会でのご意見を踏まえて、専修学校約 30 校、通信制高校約 200 校にも送付いたしました。

令和 5 年度も定時制高校、専修学校、通信制高校にパンフレットを送付して、より多くの志願者獲得のための PR につとめてまいります。

【意見 5】

短期大学では長期インターンシップは難しいと思うが、短期であってもインターンシップの単位化を検討してはどうか。

【回答】

今年度、本学を通して自治体や民間企業のインターンシップに参加した学生は 8 名でした（本学を通さず学生自身が手続きを行うものを除く）。インターンシップの単位化にあたっては、教育課程における位置づけを明確にし、単位数に見合った実習時間の確保や事前・事後教育等を含む実施プログラムの確立などが必要になります。本学は専門分野が多岐にわたり学生も多いため、教育上相応しい受け入れ先の確保や学生とのマッチング、企業等の受け入れ可能時期と学事日程との調整、資格取得に必要な校外実習との兼ね合いなどにおいて課題があります。

インターンシップへの参加は、仕事や企業などへの理解を深め、自分自身の適性や将来のキャリアプランを考えるうえで効果が期待されることから、今後も学生が参加しやすいよう、企業・団体等への受入依頼、学生への情報提供、参加の案内・相談対応等の支援につとめてまいります。

【意見 6】

対策を強化している高校も多い中、公立の大学でもあるので、公務員試験対策を強化して、合格者を増やす取り組みをしてはどうか。

【回答】

公務員試験対策として、公務員試験対策講座（オンラインで実施）のほか、人事院や三重県、津市役所などの人事担当者による公務員就職説明会、公務員専門学校の講師による公務員試験全般についてのガイダンス、就職支援室（TASK ROOM）による模擬集団

討論セミナー、ゼミ担任等による面接指導などを行っています。

また、津市長をはじめ津市の各部局職員が講義を行う「自治体行政特論」を開講し、自治体行政の取り組み等を理解できるようにしています。こうした取り組みの結果、本学では、例年 15 名前後が公務員試験に合格しています。今後も公務員志望の学生に対して早い時期から受験対策に取り組むよう働きかけ、より多くの合格につなげられるよう支援につとめてまいります。

【意見 7】

校舎棟トイレは整備されたが、来客の使用頻度の高い管理棟トイレの洋式化が必要ではないか。また駐車場の白線の引き直し、蛍光灯の LED 化が必要ではないか。

【回答】

本市では公共施設等総合管理計画の下、個別施設計画を策定しており、短期大学については、施設の使用年数を 80 年とする長寿命化事業を基本に、本年度は計画に位置付けられた校舎棟外壁等防水工事に加え、空調機器の改修工事を施工しました。

今後、施設の長寿命化に向けては、施設本体のみならず付帯施設等の改修が不可欠であり、現在、計画の見直し作業を進めています。トイレの洋式化、LED 化などの事業についても、計画に位置付けられるよう協議を重ね、学習環境の整備に取り組んでまいります。

【意見 8】

入学前教育は非常に大切で、各大学が様々に工夫している。オープンキャンパス時のミニ講義だけでなく、通常講義の開放（授業参観）を検討してはどうか。

【回答】

本学では入学前教育として、学校推薦型選抜および関連分野特別選抜の合格者を対象に、学科毎に課題を送付し、提出されたレポートを本学教員が添削して返却しています。さらにオープンキャンパスでのミニ講義やミニ実験に加え、「出前講座」として各高校にうかがい、あるいは「オープンカレッジ」として本学内で、本学教員が講義を行っています。

通常講義の開放は、教室の座席スペースや資料の準備、高校側とのスケジュール調整等で実施が難しい面もありますが、単に「大学の雰囲気を感じてもらう」のではなく、入学後の学習に資する企画については、引き続き検討してまいります。

【意見 9】

ふるさと納税の返礼として、短大独自の企画（講座や講義の受講、学食で使用可能な食券など）を検討してはどうか。

【回答】

ふるさと津かがやき寄附を活用した三重短期大学の応援については、市の定める寄附目的である「こどもたちが未来に向かってかがやくまちづくり」に位置づけられ、私立

高等学校、私立短期大学と一体となった取組みになります。

したがって、短期大学独自の企画に基づく返礼につきましては、関係する私立学校とともに取り組む必要があると認識しており、返礼品担当部局の見解も参考にしつつ、時期を考慮した対応が必要であると考えます。

【意見 10（提言）】

「卒業生満足度調査」で「自分の人間的成長についての満足度」を問う項目があるが、問い方に工夫が必要ではないか。ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を学生がどれだけ修得できたか等を尋ねるべきではないか。その回答結果から、今後どのような教育が必要か、自ずと明らかになるのではないか。

【回答】

三重短期大学内部質保証推進委員会では、毎年 3 月に卒業生を対象に「卒業生満足度調査」を実施しています。ご指摘を受け、同委員会では「知的面の成長に関する満足度」「人格面の成長に関する満足度」「意欲面の成長に関する満足度」中の記載項目に若干の修正を加えました。

なお、令和 6 年度入学生から、1 年次と 2 年次にアセスメントテストを実施予定です。今後は本アンケート結果に加えて同テストの結果等も踏まえ、学修目標の達成度を検証し、教育の質のさらなる保証につとめます。